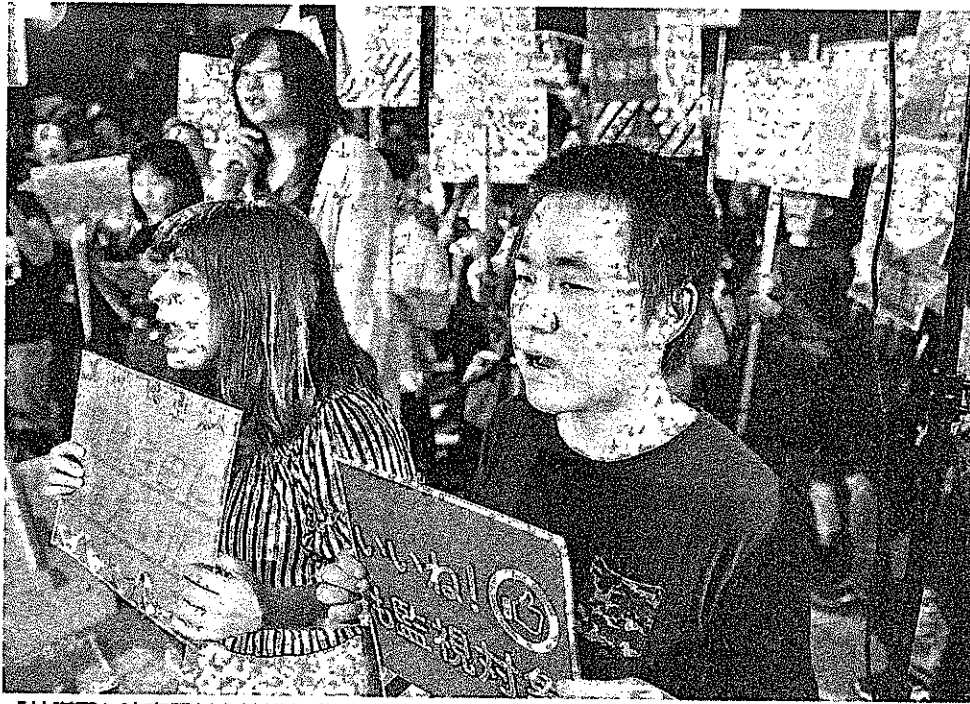


# 「共謀罪」廃案必ず

## “野党はがんばれ”

### 未来公共が国会前抗議

「未来のための公共」（未来公共）は2日夜、「共謀罪」法案の廃案を求める国会前抗議を行いました。参加者は「強行採決せうたい反対」「野党は頑張れ」とコール。学者や著名人、弁護士、国会議員が次つぎとマイクを握り「廃案に追い込むために声をあげ続けよう」と訴えました。



「共謀罪」法案反対と抗議行動する人たち＝2日、国会正門前

「民主主義をめぐらめない」「共謀罪反対」などが書かれたフラカードが並ぶ国会前。船橋市から参加した男性(45)は、「子どもたちに自由にものがいえない社会を残したくない。その一心で来ている。必ず廃案にしたい」と話しました。

未来公共のメンバーで、大学生の中山美幸さんは、「民主主義の国で、政府から国民が圧力をかけられる必要はありません。私たちが共謀罪の危険性を明らかにして、政権にどんだん圧力をかけていきましょう」と呼びかけました。

スピーチした評論家の佐高信さんは、「安倍政権は自分たちに都合のいい人と悪い人を分けて政治をしている。とんでもないことだ」と批判。「安全保障関連法に反対する学

者の会」の広渡清吾さん(東京大学名誉教授)もスピーチしました。民進党、日本共産党、徹衆院議員が訴えました。つ。共産党からは宮本